

# 令和3年度 小・中学校給食費の 半額を助成します

## 【対象者】

- 小坂小・中学校に在籍する児童生徒の保護者
- 町外の小中学校に在籍する児童生徒の保護者で町内に住所を有する方

## 【助成内容】

保護者が負担する学校給食費の半額を助成します。

- ① 小坂小・中学校では、学校へ納める給食費が半額になります。
- ② 町外の小中学校では、年間に負担した給食費が確定した後、その半額を保護者へ直接給付します。

## 【申請手続き】

小坂小・中学校は、学校から児童生徒へ申請書を配布していますので、期日までに学校へ提出してください。町外の小中学校については、町教育委員会から別途手続き方法をお知らせします。

## 【申請締切】

3月15日(月)

■お問い合わせ先  
教育委員会総務班 (TEL29-2342)

# 令和2年度 小坂町在宅育児支援給付金 申請を受け付けています

## 対象の要件

- 児童・保護者共通:小坂町に住所を有していること
- 児童に関する要件:生後8週間～3歳の誕生日を迎えてから1回目の3月31日を迎えるまでの間であること
- 保護者に関する要件:保育園等の未就学施設を利用せずに、在宅で育児をしていること

## 支給額

対象児童1人につき月額15,000円

## 申請期間

3月31日(水)まで  
申請書は下記窓口で配布しているほか、町ホームページにも掲載しています。



■申請書の配布・申請に関するお問い合わせ先  
教育委員会総務班 (TEL29-2342)



## キムさんのALT通信



自分の幸福は、忙しさを基本にしているときがあることに気が付いていました。もし忙しかったら、時間を有効に使うことになり、『プロダクティブ(生産的)』になるでしょう。自分が社会の貴重な存在であることを証明しているという感じです。

しかし、忙しさや生産性の高さなどは、いつも私を幸せにしてくれるわけではありません。生産性は、人間としての価値を証明するものではないと言ったら分かるでしょうか。

幸せな人は、productivityが高いと言われることがあります。

でも、その生産性は“富”にのみ着目すれば、肉体的にも精神的にも悪化していくことでしょう。自分のために目標を設定し、毎日それを行うことは、生産的になるために優れた健康的な方法です。

ただ、自分の能力を打ち消し始めたら、どれだけ働けるかが自分の価値の基準になり始めます。「もし〇〇時間働けばプロダクティビティが伝わるでしょう」みたいなことと思いはじめてしまいます。「今日は疲れたけど頑張ったので価値がある。意味がある」という満足感を得るために、限界を超えるまで自分を追い込んでしまいます。

プロダクティビティのことばかりに集中していると、実際にどれだけの人生を経験しているのでしょうか。

仕事の量、職場にどれくらい貢献しているか、稼いでいる金額は、本当に幸せに深く影響するのでしょうか？。それとも、充実感や幸福はもっと重要なものからくるのでしょうか？。

私は、自分の価値や社会・世界における自分の居場所について考えることに多くの時間を費やしています。

しかし、あまりにも深く考えるのは厄介なネガティブさにつながる可能性があります。ですから、どれだけ仕事ができるかに集中するよりも、好きなことをすることに集中しようと思っています。

また、自分で達成可能な目標を設定して、健康的に生産性を感じられるようにしていきたいと思います。もちろん目標を持って追求するなど言っているわけではないし、仕事を避けろと言っているわけでもないのです。

今回は、健康的な生産性とSMART目標について書きたいと思います。ご期待ください。

